

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農 業	野 菜	2	3	園芸福祉科	選 択

科目のねらい	野菜の生産と経営に必要な知識と技術を習得し、野菜の特性や生産に適した環境を理解する。また、品質と生産性の向上について理解し、経営の改善を図る能力と態度を学ぶ。
--------	---

使用教材など	野菜（実教出版）
--------	----------

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4		☆野菜とは	○温室・ほ場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組むことができる。 ○野菜生産と育苗について理解する。 ○野菜生産と育苗が、野菜の品質を左右することを説明できる。
	5		☆野菜の生産と消費 ◎ 野菜苗の育苗と販売	
	6		◎ 露地栽培・施設栽培の特徴と管理	
	7		◎ 土壌管理と施肥 ◎ 夏野菜の栽培	
	7		◎ 収穫物の出荷調整と販売	
二 学 期	8		☆野菜の生育と生理	○温室・ほ場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組むことができる。 ○基本的な栽培の知識を理解し、その技術を習得できる。 ○収穫・調製の仕方、販売方法などを作物ごとに説明することができる。
	9		☆野菜の栽培環境と生育調査	
	10		◎ 土壌管理と施肥 ◎ 養液栽培のしくみ	
	11		☆人工環境における栽培技術	
	11		◎ 果菜類の収穫 ◎ 秋野菜の栽培 ◎ 収穫物の調製と販売	
三 学 期	1 2		☆野菜の流通と経営改善	○基本的な知識・技術を理解できる。 ○温室・ほ場の野菜栽培の学習に意欲的に取り組むことができる。
	1		◎ 施設管理	
	2		◎ 果菜類のたねまき	
	5 7			

評価項目・学習にあたって・評価点		
------------------	--	--

①定期テスト	野菜の生理特性及び管理法等の学習内容を理解し、正しく解答することができる。	50点
②ノート・プリント提出	授業内容を黒板の板書を元に丁寧に記入することができる。ファイルにプリント及び記録用紙を順番通りにまとめることができる。	20点
③実 習	教員の指示を正しく理解し、クラスメイトと協力しながら実習に取り組むことができる。実習内容を理解し、主体的かつ積極的に実習することができる。	30点